

『石狩市地域公共交通網形成計画』の 計画の基本方針及び今後の施策(案)について

第4回石狩市地域公共交通活性化協議会
平成30年12月12日(水)

1. 課題の整理と基本方針（案）

現状と課題

基本方針

石狩市の現状
からみた課題

人口減少・高齢化の進行への対応が必要

立地適正化計画と連携した公共交通網の形成が必要

広域移動を支える公共交通網の維持が必要【厚田区・浜益区】

自動車依存が高く、市民意識の醸成が必要

来訪者にもわかりやすい公共交通サービスの確保が必要【観光振興】

公共交通の現状
からみた課題

利用促進に繋がるサービスレベルの向上と持続可能を両立する運行形態の検討が必要

公共交通の担い手不足への対応が必要

公共交通空白地への移動手段の確保が必要【生振・八幡等、厚田区】

広域な石狩湾新港への効率的な移動手段の確保が必要【新港地区】

デマンドバス利用習慣を定着させるための利用促進・連携策が必要

各種調査結果
からみた課題

自動車依存からの転換を目指した利用促進策が必要

市内施設への利便性を高める公共交通網の形成が必要

利用しやすい待合環境・乗継環境の形成が必要

石狩湾新港への利便性向上、需要創出に向けた公共交通網の形成が必要

観光客への周遊性の高い公共交通網の形成や利用促進策が必要

基本方針①

持続可能かつ利便性の高い公共交通網の形成

市民の移動実態やニーズに対応した利用促進に繋がるサービスレベルの向上を図り、効率的かつ持続可能を両立する公共交通網の構築を目指します。

基本方針②

コンパクトなまちづくりに繋がる交通結節点を中心とした交通網の構築

コンパクトなまちづくりと連携した交通結節点の乗り継ぎ機能の強化、地域拠点等における乗り場環境の改善など、公共交通を利用しやすい拠点機能の充実を目指します。

基本方針③

地域の交通状況に応じた公共交通利用促進策の推進

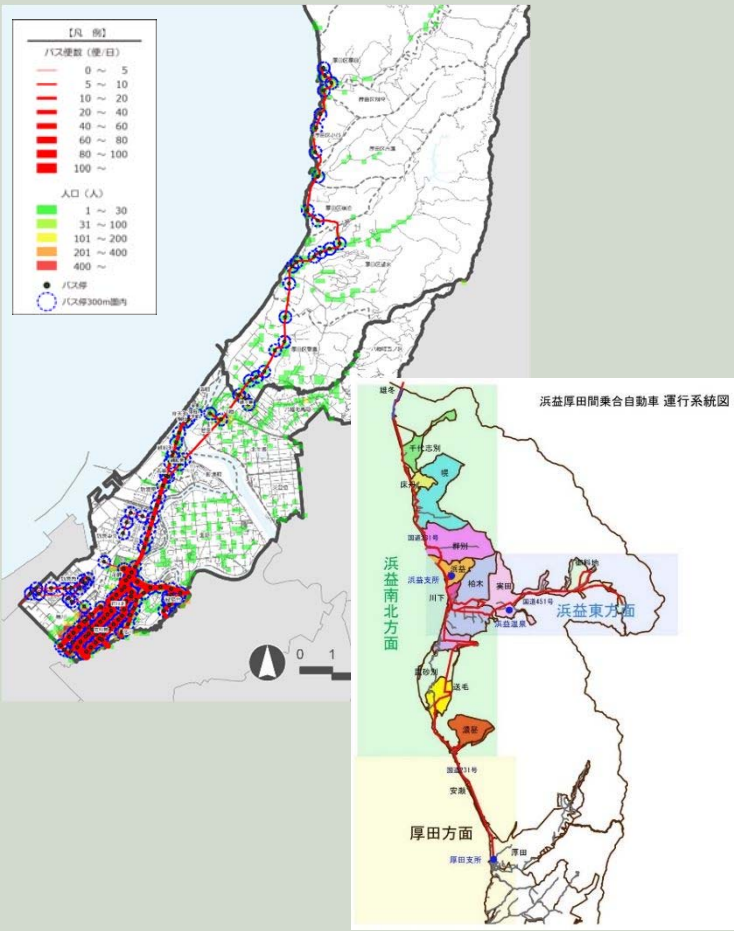
自家用車利用に頼らざるを得ない暮らしから、公共交通を利用する暮らしへの転換を図るため、地域・世代に応じたモビリティマネジメントを展開し、公共交通利用促進を目指します。

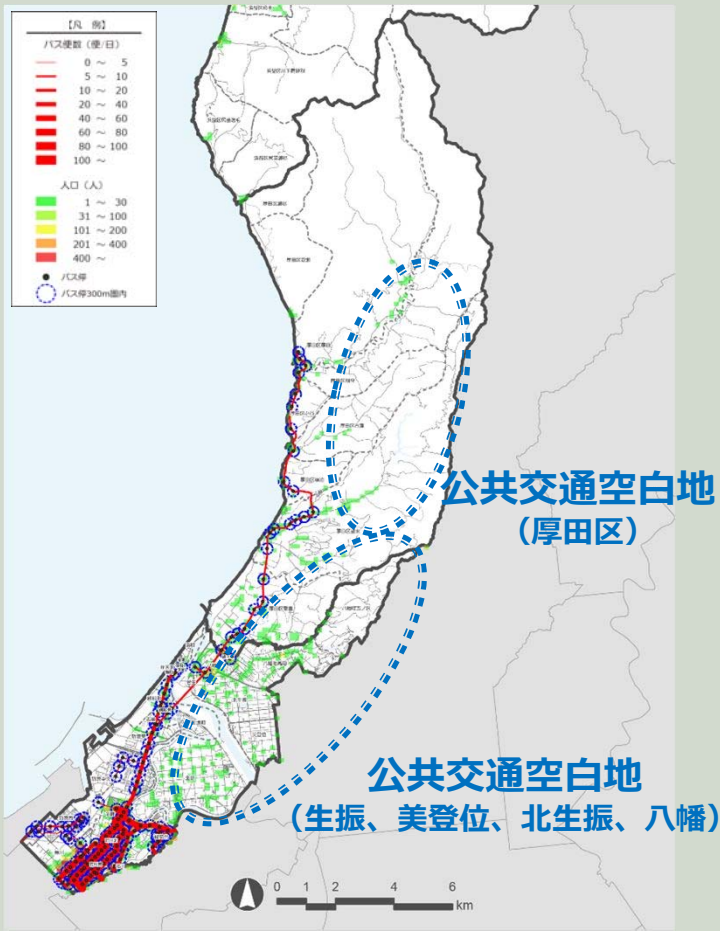
基本方針④

わかりやすい情報提供の仕組みづくり

公共交通に関して、市民や観光客の視点からわかりやすい情報の提供を行っていきます。また、利用者にとって使いやすい情報環境を整えていくことで、さらなる利用促進を目指します。

2. 基本方針① 持続可能かつ利便性の高い公共交通網の形成

項目	現行サービスレベルの維持・確保
<p>施策概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が安心して生活できる公共交通を確保するため、公共交通の利用促進策により利用者を確保し、現在のバス路線・デマンドバスの維持・確保に努める 	
<p>実施主体</p>	<p>石狩市地域公共交通活性化協議会、交通事業者</p>

項目	公共交通空白地域解消に向けた検討
<p>施策概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通空白地域である生振、美登位、北生振、八幡地区や既に有償運送が実施されている厚田区において日常的な移動環境（デマンドバス、公共交通空白地有償運送等）の確保やスクールバスの活用について地域住民と意見交換を進めながら検討を進める 	
<p>実施主体</p>	<p>石狩市地域公共交通活性化協議会、交通事業者、市民（地域協議会等）、NPO</p>

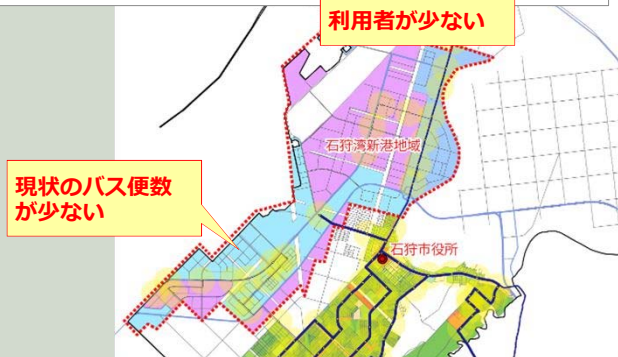
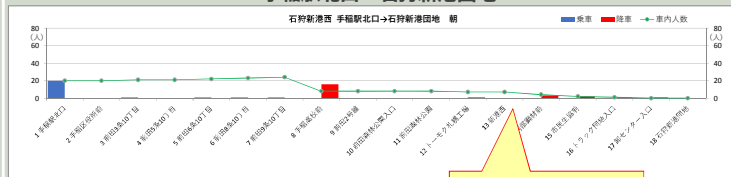
2. 基本方針① 持続可能かつ利便性の高い公共交通網の形成

項目 石狩湾新港地域への効率的な交通網の検討

施策概要

- 操業企業のニーズや市民の潜在的な就業ニーズに対応した、新たな交通形態（乗合自動車等）も含めた効率的かつ利便性の高い交通網を検討する

— 石狩新港西線の利用実態 —
手稲駅北口→石狩新港団地



— 公共交通利便性が向上した場合の就労ニーズ —

地区	回答数	働いてみたい	いい職種があれば働いてみたい	どちらともいえない	働いてみたいとは思わない	今の職場を変えたい	その他
花川北・花畔・花川	n=108	2.8%	34.3%	12.0%	23.1%	23.1%	4.6%
花川南・梅川	n=164	9.1%	30.5%	16.5%	22.6%	20.1%	1.2%
花川東・緑苑台	n=141	5.0%	31.9%	17.7%	19.9%	24.1%	1.4%
本町・新港・志美	n=31	9.7%	35.5%	19.4%	6.5%	29.0%	0.0%
八幡・緑ヶ原・生振・北生振・美登位	n=74	8.1%	27.0%	16.2%	23.0%	24.3%	1.4%
厚田区	n=31	3.2%	19.4%	19.4%	29.0%	25.8%	3.2%
浜益区	n=30	0.0%	6.7%	20.0%	36.7%	33.3%	3.3%
無回答	n=2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	581	6.2%	29.6%	16.4%	22.2%	23.6%	2.1%

約4割の人が公共交通の利便性が向上すれば働いてみたいと回答

資料：石狩市市民アンケート（H30.8月実施）

実施主体

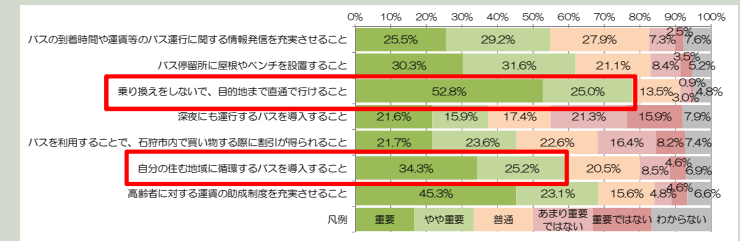
石狩市地域公共交通活性化協議会、石狩湾新港団地連絡協議会、交通事業者

項目 地区内を循環する交通形態の検討

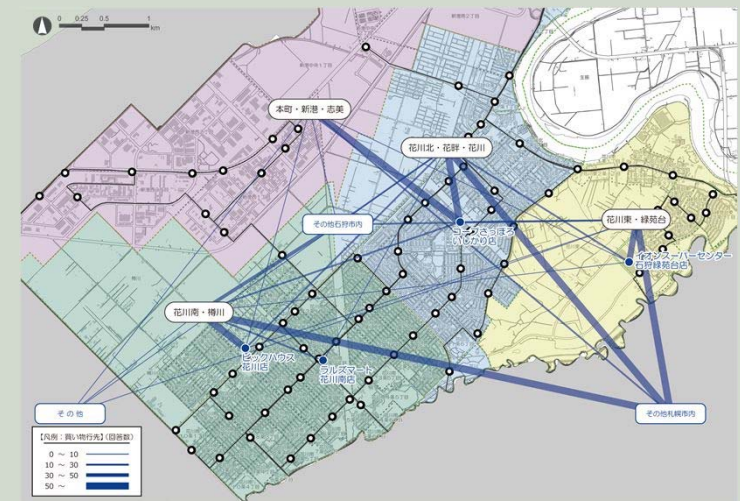
施策概要

- 花川、樽川、緑苑台地区における買い物施設や病院施設とのアクセス性向上を図るため、細街路も含めた市街地を循環する新たな交通形態の導入について検討する
- 新たな交通形態の検討にあたっては、自動運転技術の活用等も視野に入れながら検討を進める

— 今後のバス利用に関する重要な項目 —



— 買い物の流動 —



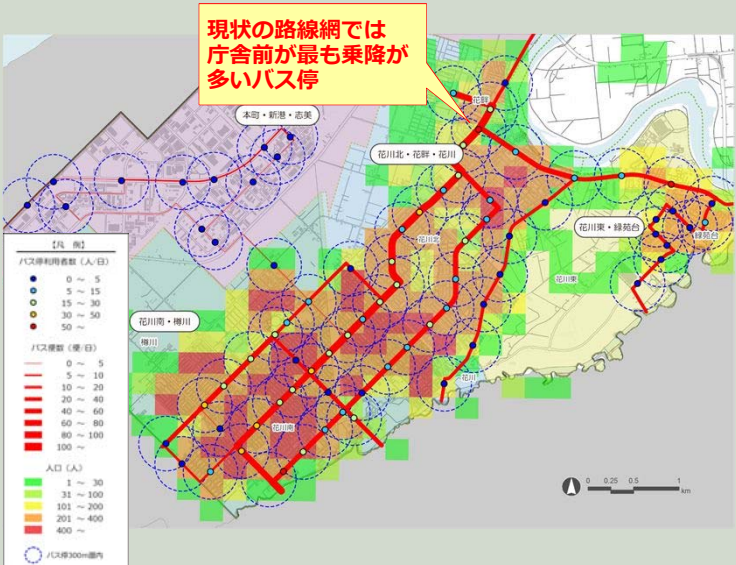

実施主体

石狩市地域公共交通活性化協議会、交通事業者

2. 基本方針① 持続可能かつ利便性の高い公共交通網の形成

項目	公共交通担い手確保に向けた取組
<p>施策概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 喫緊の課題となっているバス運転手確保対策として、関係機関と連携し、担い手確保に向けた施策（職業体験、免許取得支援、説明会等）を推進する ■ 同様に、公共交通空白地有償運送やデマンドバスの担い手確保についても地域の取組への支援を行なう <div data-bbox="421 598 1014 1441" data-label="Image"> </div>
<p>実施主体</p>	<p>北海道運輸局、北海道、石狩市地域公共交通活性化協議会、交通事業者、NPO</p>

3. 基本方針② コンパクトなまちづくりに繋がる交通結節点を中心とした交通網の構築

項目	乗換拠点（交通結節点）の検討
<p>施策概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 立地適正化計画と連携した乗換拠点（交通結節点）位置について検討する ■ 交通結節点位置については、現状のバス路線網、利用実態も考慮して検討する 	<p>現状の路線網では庁舎前が最も乗降が多いバス停</p>  <p>— 市役所庁舎での乗り場・時刻案内 —</p> 
<p>実施主体</p>	<p>石狩市地域公共交通活性化協議会、交通事業者</p>

項目	乗換拠点への乗入や待合環境改善の検討
<p>施策概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ スムーズな乗り継ぎや利用しやすい待合環境が整備された拠点の充実が不可欠であり、交通結節点の乗り継ぎ機能の強化、地域拠点等における乗り場環境の改善について検討する 	<p>— バス乗り場を集約させた事例（JR旭川駅） —</p>  <p>資料：旭川市HP</p> <p>— 道の駅石狩「あいろんど厚田」でのバス待合スペース —</p> 
<p>実施主体</p>	<p>石狩市地域公共交通活性化協議会、交通事業者</p>

4. 基本方針③ 地域の交通状況に応じた公共交通利用促進の推進

項目	モビリティ・マネジメントの推進
<p>施策概要</p> <p>■ 学校・事業所・特定地区を対象とした地域・世代に応じたモビリティ・マネジメントを展開する</p> <p>【モビリティ・マネジメント】 「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（＝かしこく）利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取り組み</p> <p style="text-align: center;">— モビリティ・マネジメント実施例 —</p>  	
<p>実施主体</p>	<p>石狩市地域公共交通活性化協議会、交通事業者</p>

項目	デマンドバス運行方法等の改善
<p>施策概要</p> <p>■ 浜益地区のデマンドバスについては、高齢者の予約への抵抗感や土日運行へのニーズなど様々な課題が確認されていることから、運行方法の改善について検討する</p> <p>■ 路線バスとデマンドバスとの接続について、わかりやすい情報提供方策等を実施する*</p> <p>※12/1より中央バス路線「札厚線」にて、デマンドバスとの乗継について車内アナウンスを実施開始</p> <p style="text-align: center;">— 浜厚線パンフレット —</p>  <p style="text-align: center;">— 道の駅石狩「あいろーど厚田」でのデマンドバス乗入 —</p> 	
<p>実施主体</p>	<p>石狩市地域公共交通活性化協議会、関係部署、交通事業者</p>

5. 基本方針④ わかりやすい情報提供の仕組みづくり

項目	公共交通マップの作成
<p>施策概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事業者毎に公共交通に関する情報発信が行われているが、市民や観光客にとってわかりやすい公共交通の情報を一元化した公共交通ガイド（マップ・時刻表・観光ルート等）を作成し、情報案内の充実を図る <p>— 公共交通マップの事例 —</p>  <p>資料：あさひかわ公共交通マップ2016</p>	<p>実施主体</p> <p>石狩市地域公共交通活性化協議会、交通事業者、観光協会等</p>

項目	バスロケーションシステムの導入検討
<p>施策概要</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンやバス待合所等に設置するデジタルサイネージを通して、バスの走行位置等を知らせるバスロケーションシステムの導入を検討する <p>— バスロケーションシステム事例 —</p>  <p>— 商業施設へのデジタルサイネージ設置事例 —</p>  <p>資料：旭川市HP</p>	<p>実施主体</p> <p>石狩市地域公共交通活性化協議会、交通事業者</p>